

第5期(令和7年度)第4回 消費生活eモニターアンケート集計

1 調査趣旨

◎SDGs（持続可能な開発目標）について

SDGsとは、貧困、紛争、テロ、気候変動など、様々な社会的課題の解決に向けて、「誰一人取り残さない」をキーワードに2030年までに達成すべき17のゴールが定められた持続可能な開発目標のことで、2015年9月の国連サミットで採択されたものです。国や企業などの取り組みに限定されるものではなく、私たちひとりひとりの行動が求められています。

そこで今回は、川崎市のSDGsの取組を知っていただくとともに、SDGsに関する消費者の実態と意識を調査し、今後の行政の参考資料とするため、アンケートを実施いたします。

2 調査事項 「SDGs（持続可能な開発目標）について」

3 調査対象 第5期消費生活eモニター 57名
(回答者数49名・回答率86%)

4 調査方法 市ホームページの回答フォームによる

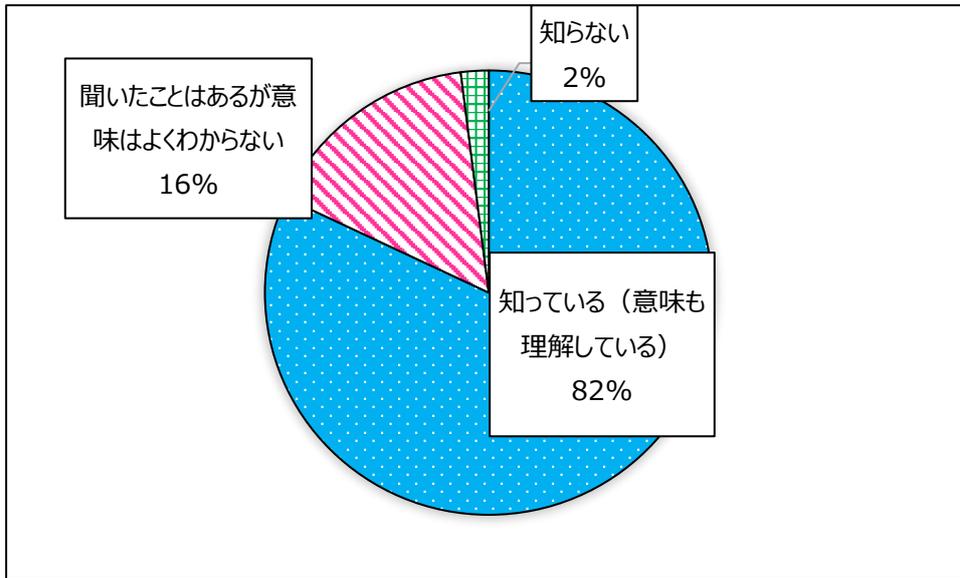
- 集計結果について、四捨五入の結果や複数回答の集計によるため、合計が100%とならない場合がございます。
- 調査結果中の「回答者数」は「調査対象者」から「未提出者」を除いた数としました。
- 自由記述、その他の回答は一部抜粋のうえ、要旨を掲載しています。



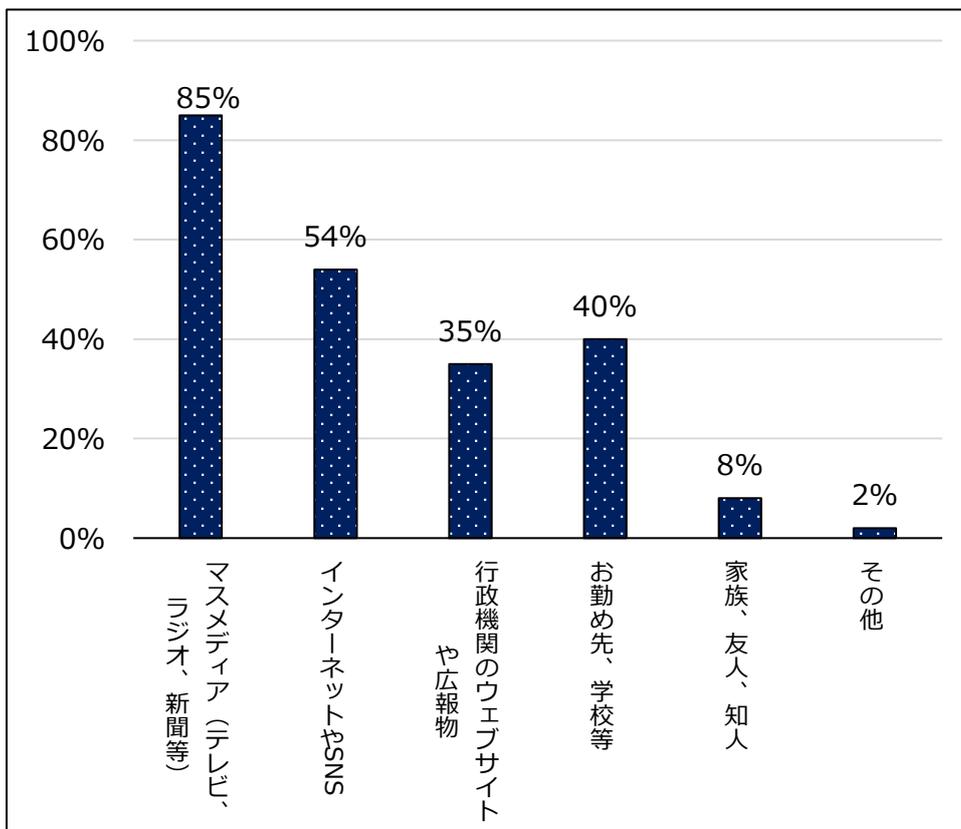
SDGs（持続可能な開発目標）について

《SDGs 全般について》

1) SDGs という言葉を知っていますか？



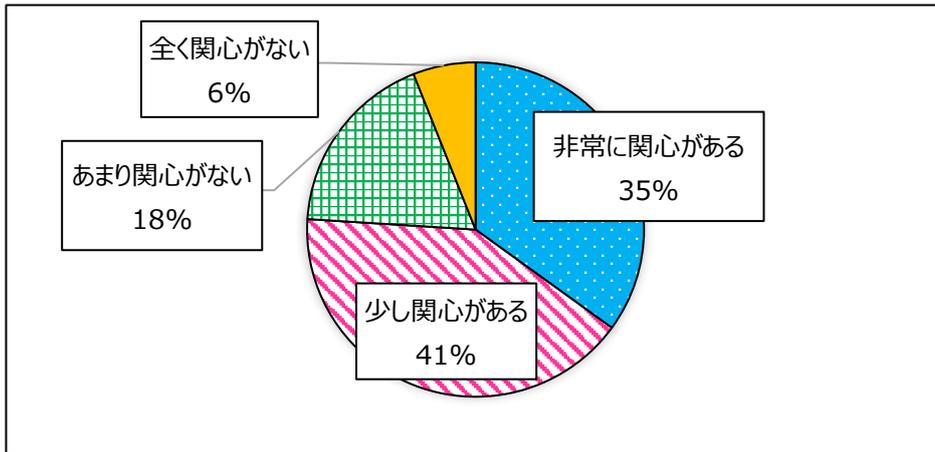
2) 【1）で「知っている（意味も理解している）」又は「聞いたことはあるが意味はよくわからない」と回答の方】SDGs を何でお知り（お聞き）になりましたか？（複数回答可）



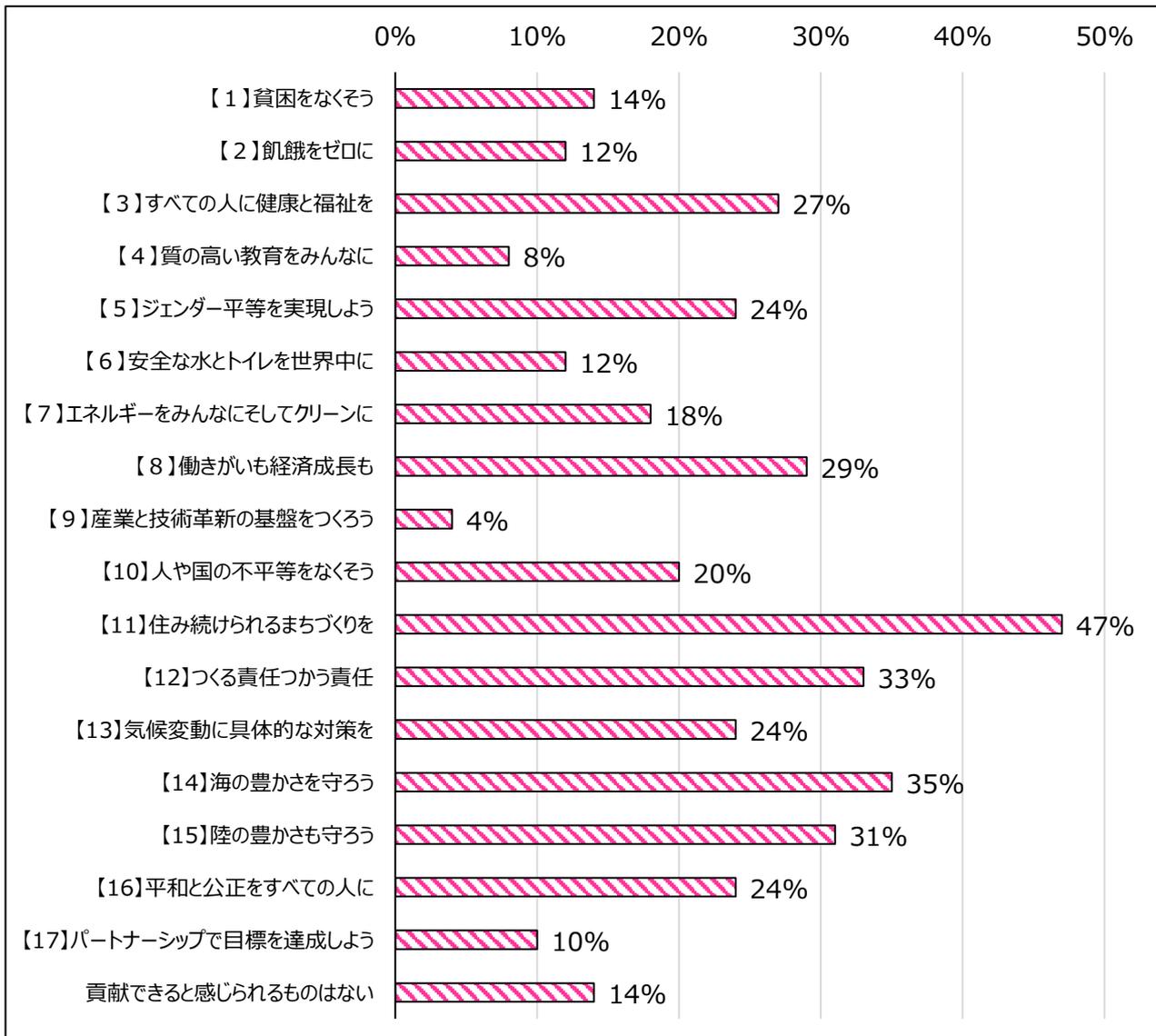
その他の内容

- 本

3) SDGs にどの程度関心がありますか？

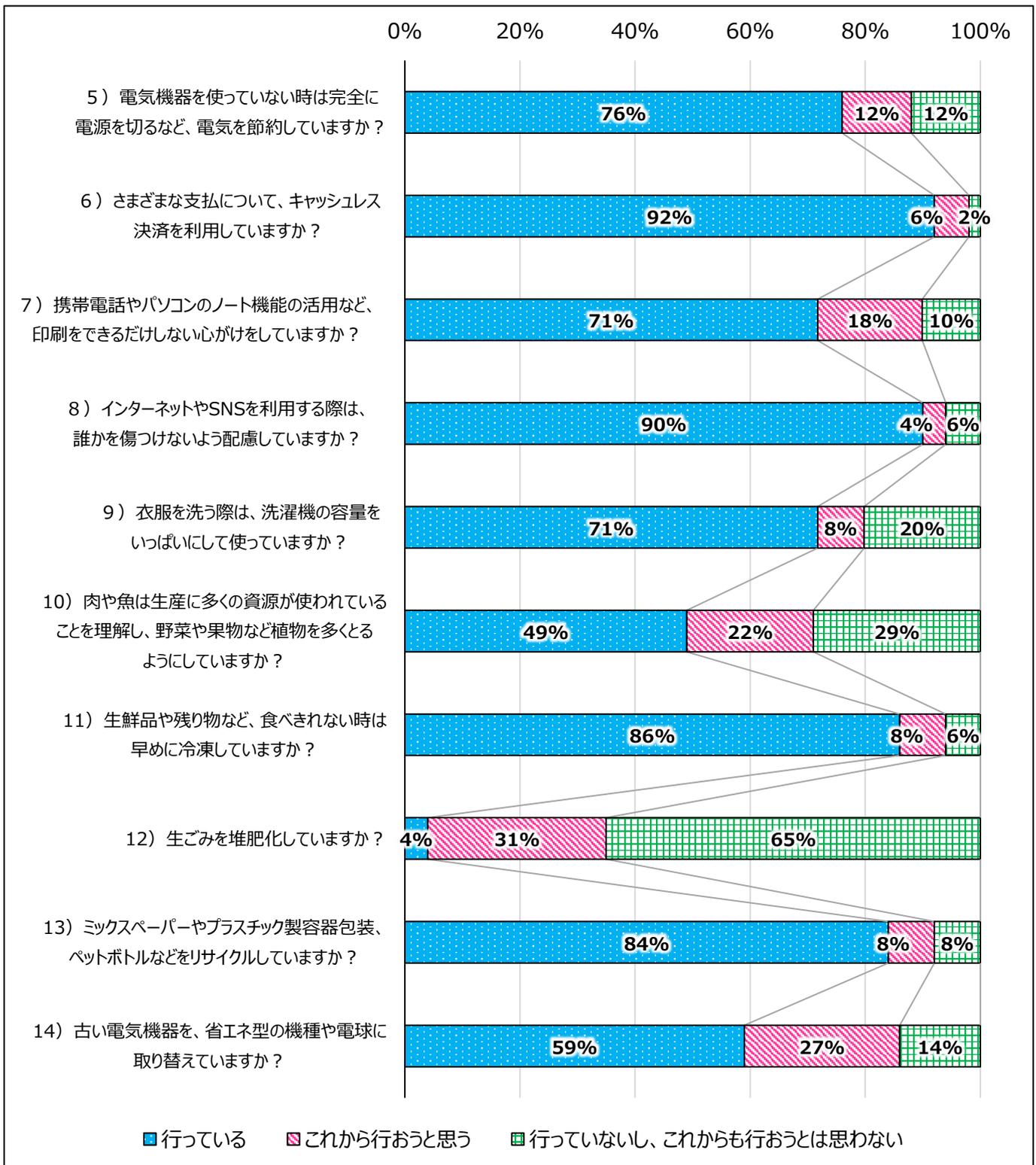


4) SDGs の 17 の目標のうち、御自身で貢献できると感じられるものはどれですか？（複数回答可）



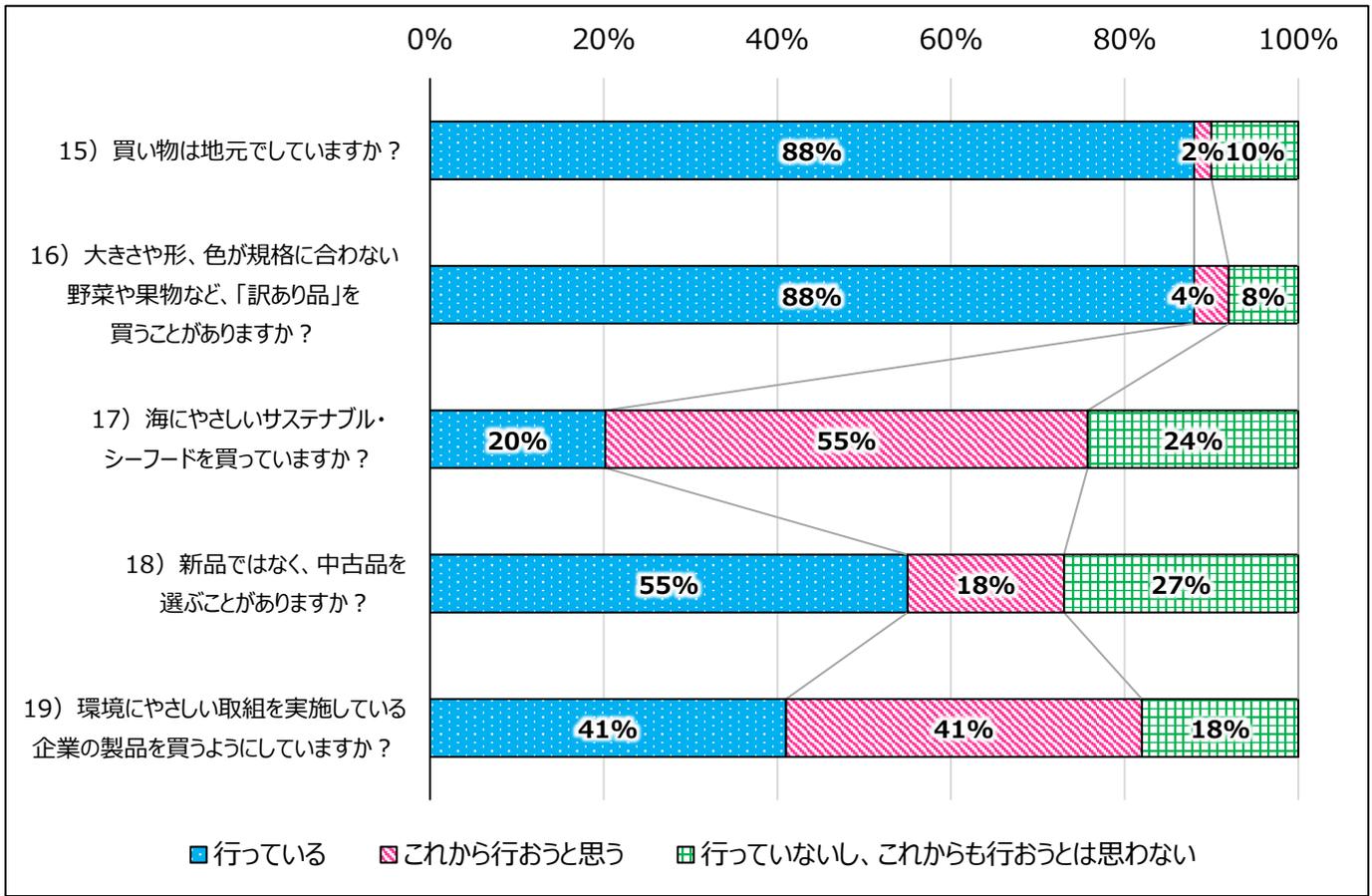
《SDGs の取組として家でできることについて》

5~14) 次のことを行っていますか？



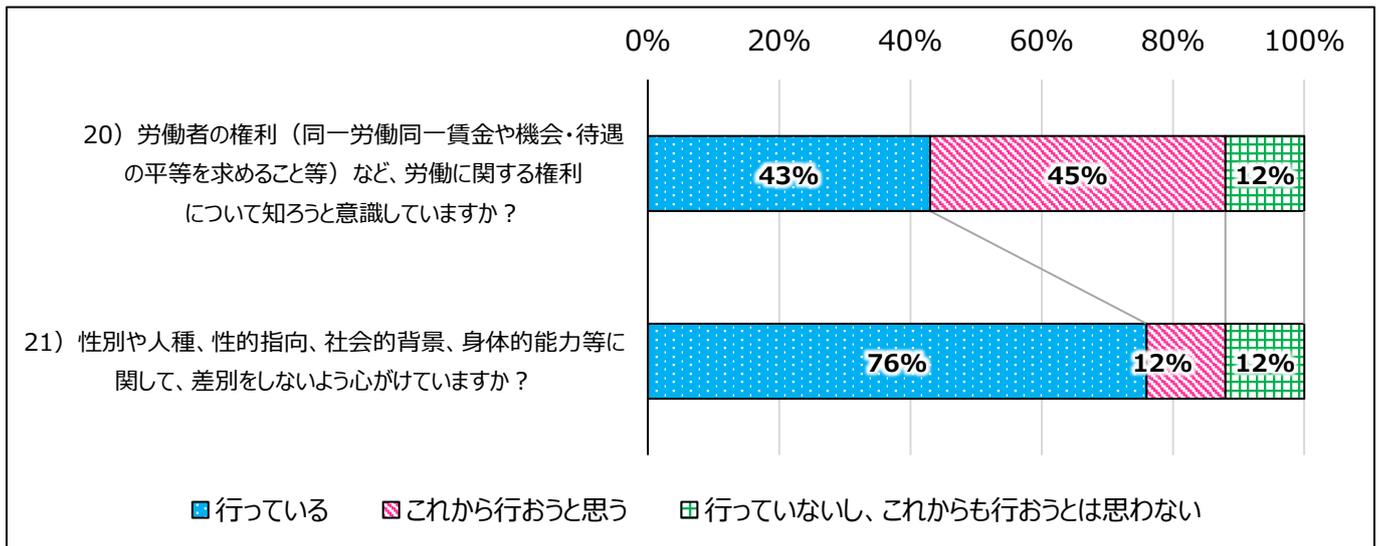
《SDGs の取組として、家の外でできることについて》

15～19) 次のことを行っていますか？



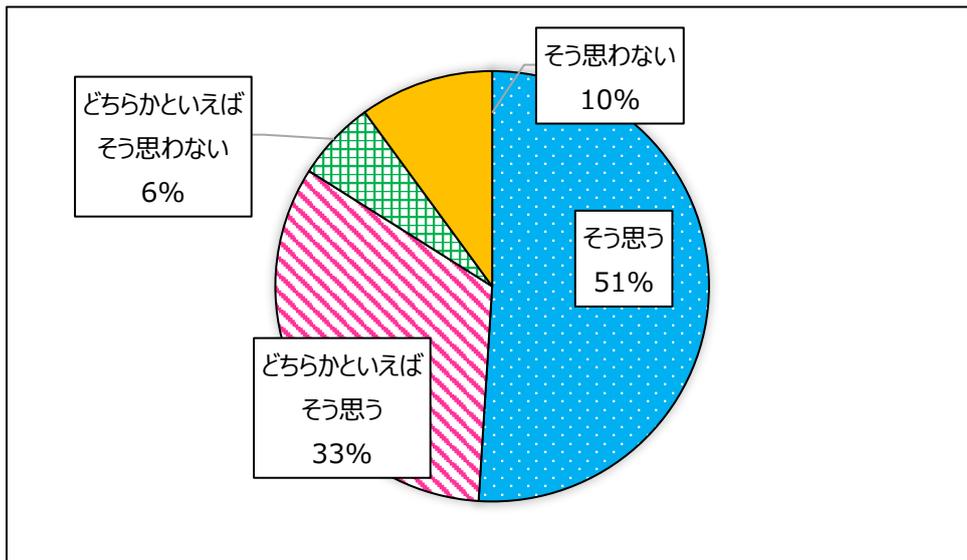
《SDGs の取組として、職場や社会でできることについて》

20、21) 次のことを行っていますか？

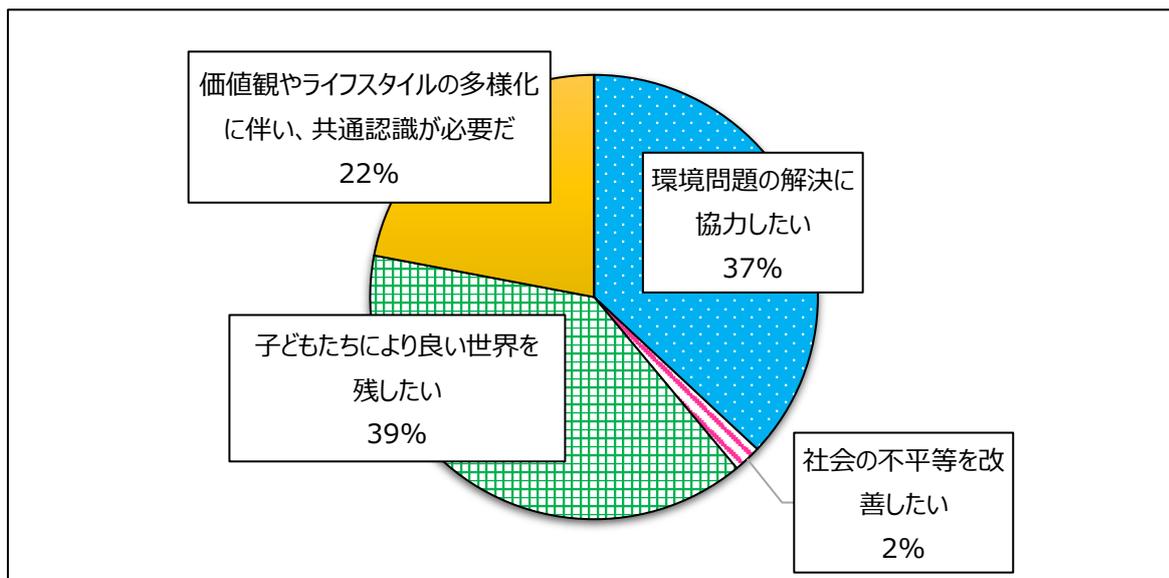


《SDGsにつながる行動について》

22) SDGsにつながる行動をしたいと思えますか？



23) 【22）で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答の方】その理由は何ですか？
もっとも近いものをお選びください。

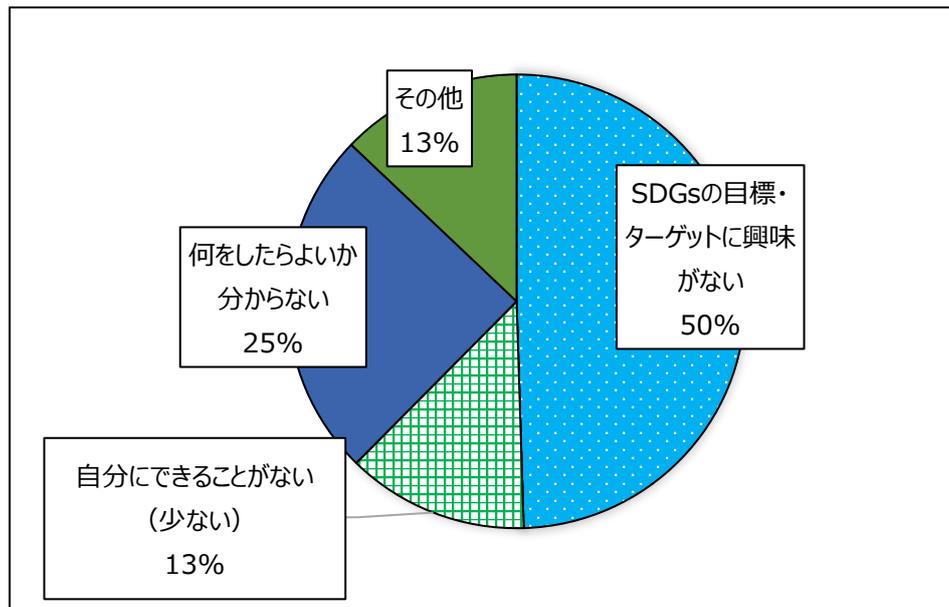


KAWASAKI
SDGs



川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

24) 【22) で「どちらかといえばそう思わない」、「思わない」と回答の方】その理由は何ですか？
もっとも近いものをお選びください。



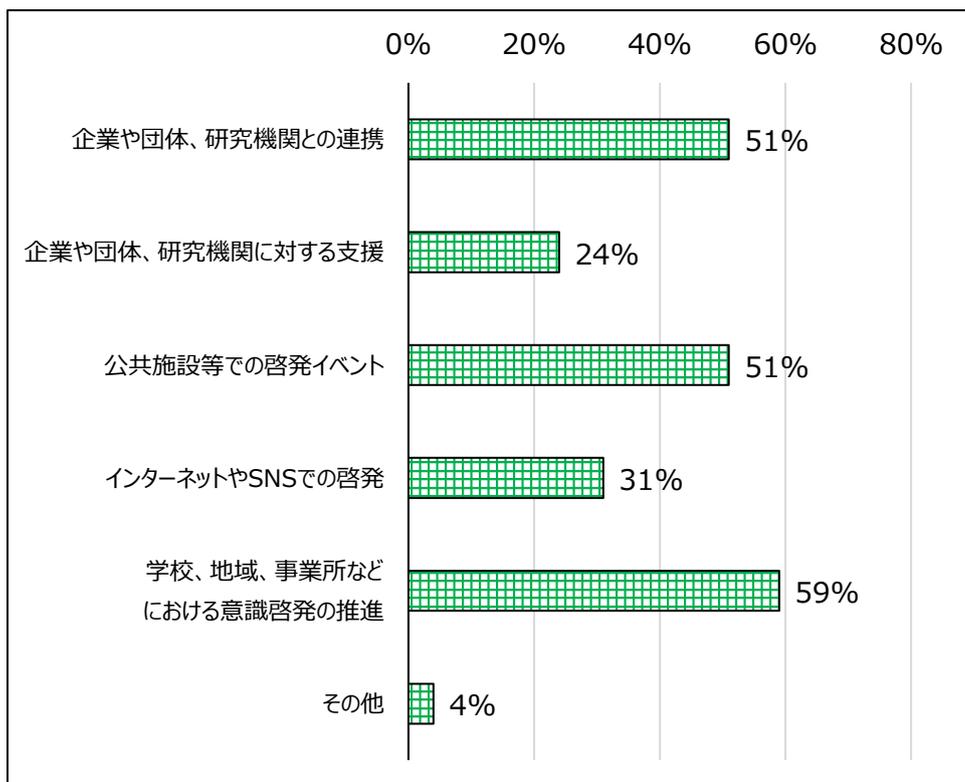
その他の内容

- それぞれの目標を細かくブレイクダウンされてこないと行動に繋げるイメージが湧いてこない。

※「ハードルが高い」「個人の一つひとつの行動が問題解決につながると思わない」と回答された方はいませんでした。

《SDGsの達成に向けた川崎市の取組について》

25) SDGsの達成に向けて、市内の取組を推進していくために、川崎市ではどのような取組が必要で効果的だと思いますか？（複数回答可）



その他の内容

- 個人の生活に身近なレベルの目標まで分解して提示することが有効だと考えます。
- SDGsよりも教育に予算を振り向けた方が良いと感じる。



《SDGs の取組について》

26) SDGs の取組について御意見を自由に御記入ください。(200 文字以内)

《自由回答》

1. 取組みの分かりやすさ・身近さに関する意見

- SDGs の範囲が広く、何をすればよいか分かりにくい。
- 「日常生活でできる具体的な行動」「負担なく取り組める方法」を示してほしい。
- 自分でも知らないうちに実行していることがあるため、生活に即した説明が必要。
- 子ども向けの学習機会や親子で参加できるイベントがあると理解が深まる。

2. イベント・啓発活動についての意見

- 多項目ではなく、テーマを絞った分かりやすい啓発が望ましい。
- 参加型イベントを通じて身近に感じられる。継続的な啓発を期待。
- 商業施設や民間施設など、多くの人が集まりやすい場所での実施が有効。
- 夏休みの自由研究向け企画など、親子で参加しやすい工夫が望ましい。
- 一方で、イベントのグッズ配布に無駄を感じるなどの指摘もあり、目的に沿った適切な運用を求める意見もある。

3. 個人の行動に関する考えや課題意識

- 自分のできる範囲で協力したいが、具体的な行動が分からない人も多い。
- 小さな行動の積み重ねが必要であり、意識の継続が大切。
- 高齢者や一人暮らしの方が参加しやすい地域活動（見守り、清掃など）の仕組みづくりが望まれる。
- 個人のできる取組みとして、規格外農産物の購入や中古品利用などを挙げる意見もある。

4. 行政への期待・改善点

- パフォーマンス的に見える取組みもあり、より実効性のある施策を求めたい。
- 売名的な SDGs 利用には違和感があり、行政は地道で誠実な啓発を続けてほしい。
- 公共施設の更新・リノベーションでは、長期的な視点に立った計画が必要という指摘。
- SDGs の活動に参加することでポイントが得られるなど、インセンティブの導入を求める声もある。
- 配布物など、経費の使い方に慎重さを求める意見も複数あった。

《自由回答》

5. 社会全体の課題・価値観に関する意見

- SDGsは重要だが、現代の便利な生活を変える難しさもある。
- 取り組む人と取り組まない人の差が大きく、温度差が課題。
- 教育を通じて「自分ごと化」することが重要で、学校教育の充実を求める意見が多い。
- 地球環境や次世代のため、継続的な取り組みの必要性を強調する声が多数。
- 高齢者も意識改革が必要だが、デジタル対応などには困難さがあるとの指摘もある。

6. その他の意見

- 粗大ごみの再利用が進む仕組み（「ご自由にお持ちください」表示など）があるとよい。
- 中古品の修理販売やリユースがもっと普及してほしい。
- 特に意見なしという回答も一部あった。

総括

全体として、以下の傾向が読み取れます。

- 「身近で分かりやすいSDGs」の提示を求める声が圧倒的に多い。
- 啓発イベントは評価されつつも、「無駄のない工夫」「効果的な運用」を求める意見が多い。
- 行政や地域の仕組みづくりへの期待と、実効性を重視する視点が強く示されている。
- 教育・地域活動・リユース促進など、日常生活につながる分野での改善要望が多い。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

